水戸市立大場小学校　学校だより
令和２年度　第30号　2021.2.1

おおばっこ

E-mail　510131@sch.ibk.ed.jp

あいさつと笑顔がいっぱい大場っ子

未来につなげ　大場の絆

Tel　029-269-2103　Fax 029-269-2159

地域の方より寄贈　手作りの鬼

124年ぶり！　今年の節分は2月2日

節分と言えば２月３日だと思う方も多いかも知れませんが，今年は２月２日となります。例年より1日早い節分は，1987年以来124年ぶりのことです。

節分はもともと季節を分ける日という意味で，本来は立春，立夏，立秋，立冬の前の日を指しています。現在の暦には立春前日の節分だけが残っていますが，これは江戸時代以降，四季が一巡する立春前日を節分とするようになったからと考えられています。

ではなぜ，今年の節分が２月２日になるのでしょうか。これには，地球が太陽をまわる周期と暦のずれが関係しています。

地球は１年かけて太陽の周りをまわっていますが，その１年は正確に言うと365.2422日，つまり365日+６時間弱ということになります。この６時間弱という端数は４年経つとほぼ１日となるため，うるう年を設けることで解消されます。ただこの補正を行うと今度は，約45分分増やしすぎた状態となり，このずれを解消するためには，うるう年を400年で３回減らすことが必要です。

こうした補正を繰り返されることで，立春，立夏，立秋，立冬などの日付が変わり，それに伴い節分も変動することになります。今年のように２月２日になるのは，明治30年(1897年)以来124年ぶりです。

大きなかず　「何十」＋「何十」

１月26日（火），1年生の学級で算数の授業研究を行いました。

「ブロック」や「数の線(数直線)」等を使って，大きな数のたし算の仕方を考える学習です。写真は，それぞれの考えを発表しているところです。

子供たちは，キーワード(「10のまとまり」や「たし算」)を用いながら，自分の考えをうまく説明しようと熱心に取り組んでいました。

担任は，練習問題を解く時間をしっかりと確保し，一人一人に定着が図れるよう，授業を展開しました。

授業後の研究協議では，1年生の学習が，その後の学習を支える基礎になるということ，繰り返しの練習が定着につながることなどが話し合われました。

プログラミング学習
～電気の性質とその活用～

1月28日(木)，6年生の理科で，ICTを活用した「プログラミング学習」を行いました。

回路のスイッチをセンサーによって制御するプログラムを作成する活動を通して，電気の性質や利用について理解することがねらいです。

スクラッチを使って，明るさセンサーや温度センサーを使ったプログラムをつくり，動作の確認(豆電球が点くか消えるか)をしました。

当日は，授業者の他に，市のICT支援員３名が個別支援にあたりました。

今後，このような授業がますます増えます。

あいさつキャンペーン実施中

計画委員会児童の発案により，１月25日～2月26日の期間中「あいさつ名人をさがそう」キャンペーンを実施しています。

看護日誌(児童看護で気付いたことを当番教員が記入)には，次のような記述が目立ちます。

- *意識的にあいさつする児童が多くなっている。*
- *友だちのあいさつを見てよいところを探す姿も見られた。*

ご家庭の協力に感謝します！

○自分から
○元気に大きな声で
○相手の顔を見て
○お辞儀をしながら